

第29期 中間報告書

2024年7月1日 ▶ 2024年12月31日

日本システムバンク

証券コード 5530



代表取締役社長

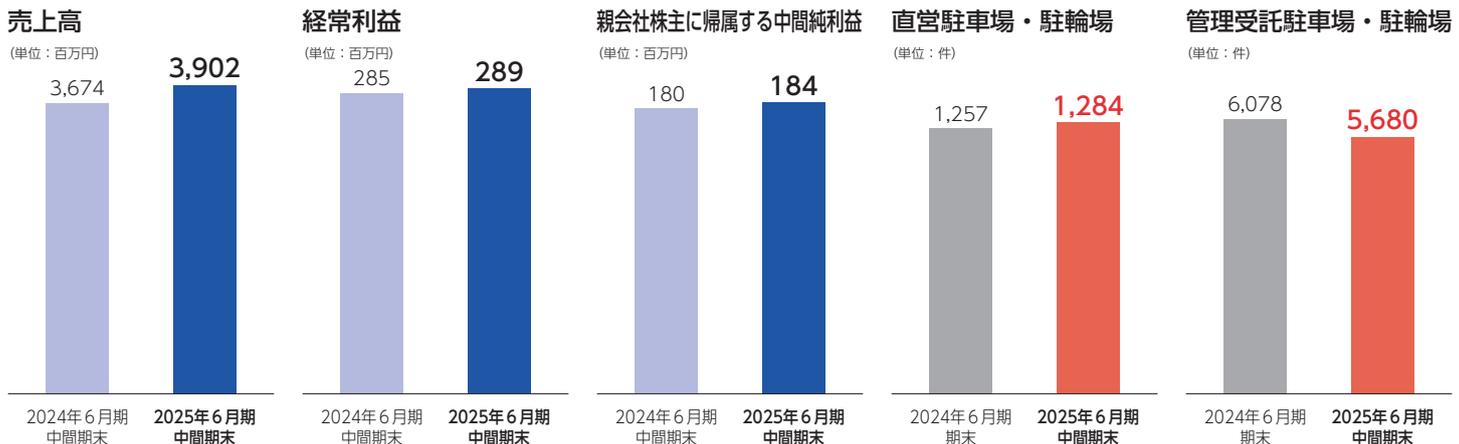
野坂 信嘉

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社の第29期上半期（2024年7月1日から2024年12月31日まで）の経営状況等について、ご報告申し上げます。
当中間連結会計期間における我が国の経済は、原材料及び資源価格の高騰による物価上昇により個人消費の一部に足跡が残るものの、緩やかに回復しています。
当社グループが属する駐車場業界におきましても、個人消費の持ち直しの動きにより駐車場の稼働が堅調に推移しました。
このような環境のもと、当社グループは、新規駐車場の開設や既存駐車場の料金の見直しにより売上の拡大を図りつつ、フラップレス駐車場の推進、キャッシュレス決済及び新紙幣への対応など利用者が安心して使える駐車場づくりに努めました。
以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は3,902,315千円（前年同期比6.2%増）、営業利益は292,941千円（前年同期比0.8%増）、経常利益は289,723千円（前年同期比1.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は184,631千円（前年同期比2.0%増）となりました。
報告セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

- ① コインパーキング事業
コインパーキング運営ビジネス（直営駐車場・駐輪場）における新規開設につきましては、駐車場の堅調な稼働率を背景に、北海道・東北地方及び北陸地方を中心に進めました。北海道・東北地方においては北海道銀行の店舗駐車場でコインパーキングの開設、北陸地方においては北陸新幹線の新駅周辺での駐車場の開設に注力しました。これらにより直営駐車場・駐輪場の件数は当期首から純増となりましたが、車室数は商業施設の大型駐輪場の解約等もあり純減となりました。既存の駐車場・駐輪場につきましては、周辺環境の変化による需要変動にいち早く対応する駐車料金の最適化を継続的に実施し、収益力向上に努めました。
駐車場機器の販売・保守ビジネス（管理受託駐車場・駐輪場）の新規管理受託につきましては、当社グループ独自のスマートフォンアプリ「SmooPA」の宣伝による新規得意先の獲得に努めました。新規の駐車場・駐輪場の件数は、前述の宣伝活動の効果による新規管理受託数の積み上げがみられたものの、大口顧客の解約の影響により純減となりました。車室数は、商業施設の大型駐輪場の新規管理受託等もあり純増となりました。既存の駐車場・駐輪場につきましては、駐車場システム向けの新紙幣対応紙幣識別機の販売に注力しました。
その結果、当中間連結会計期間における外部顧客への売上高は3,840,435千円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益は535,568千円（前年同期比0.1%増）となりました。
- ② プロパティマネジメント事業
プロパティマネジメント事業につきましては、入居者の退去により入居率が低下した結果、当中間連結会計期間における外部顧客への売上高は55,853千円（前年同期比11.1%減）、セグメント損失は1,561千円（前年同期は7,073千円のセグメント利益）となりました。

2025年2月

財務ハイライト



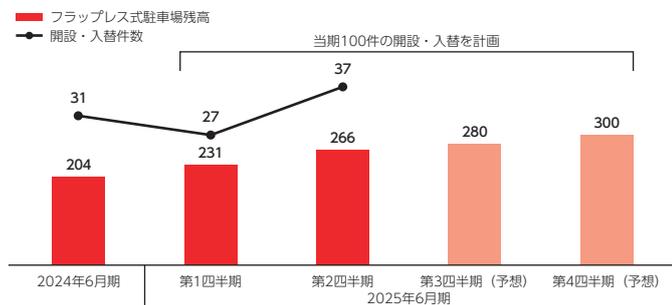
駐車場・駐輪場 件数

安全・安心・快適な駐車場づくり「3つの“LESS”」の現状と見通し

FLAPLESS フラップレス

直営駐車場への導入が順調に進み、当期末のフラップレス式駐車場の残高は直営駐車場全体の約4分の1となる見通し

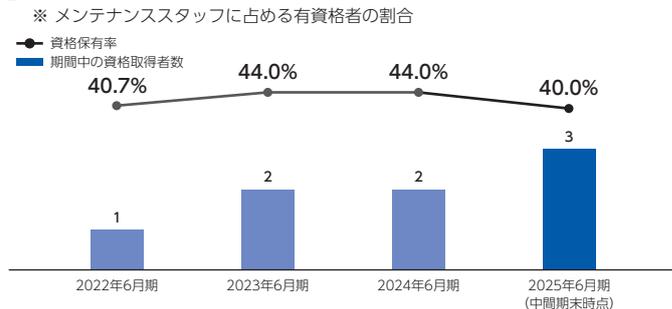
直営駐車場におけるフラップレス式駐車場の推移



STRESSLESS ストレスレス

ストレスのない安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、日常の保守点検を担うメンテナンススタッフ3名が新たに第二種電気工事士資格を取得

第二種電気工事士の資格保有率の推移※

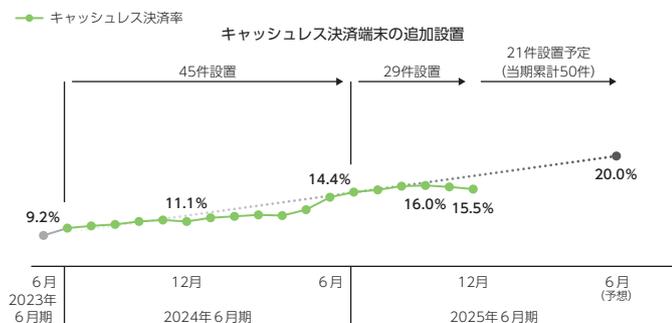


CASHLESS キャッシュレス

直営駐車場・駐輪場におけるキャッシュレス決済率は、地方で伸び悩むも全体は底上げされており、当期20%での着地を見込む

キャッシュレス決済率の推移※

※ 直営駐車場・駐輪場の売上におけるキャッシュレス決済の割合



駐車場検索・決済アプリ「SmooPA」の決済件数が順調に増加、アクティブユーザー数の伸びは予測を下回ったが、当期末には、月間決済件数13万件、アクティブユーザー数10万人を見込む

SmooPAのアクティブユーザー数および決済件数



トピックス

トピックス①

札幌市に本店を置き道内全域をカバーする子会社のノルテパークが、北海道銀行の店舗駐車場でコインパーキングを3件開設。累計16店舗（19件）でコインパーキングを開設しており、今後も増加を見込む

北海道銀行 店舗駐車場

- ・店舗駐車場を有料化することで、長期駐車や不正駐車を防止。来店者には無料時間を付与
- ・システムには主にフラップレス式を採用。除雪対応をはじめ、来店者に配慮したきめ細かい対応が好評



トピックス②

イオン高槻店（大阪府高槻市）において、当社グループとしては初めてとなるイオン店舗の駐車場管理を受託。従来のゲート式駐車場設備から、カメラで車両番号を認識し駐車券・ゲートを用いない利便性の高いシステムに刷新

イオン高槻店 店舗駐車場

- ・2025年2月より管理受託開始。収容台数1,780台
- ・料金精算は場内の精算機または専用のウェブサイトで車両番号を指定し全て事前に行うため、出口の混雑が解消

